

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【公表番号】特表2010-526084(P2010-526084A)

【公表日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【年通号数】公開・登録公報2010-030

【出願番号】特願2010-506585(P2010-506585)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/185 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/185

A 6 1 K 47/12

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月15日(2011.4.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

(発明の簡単な要旨)

本発明は、N-ハロゲン化アミノ酸化合物の抗微生物活性を増強する方法に関する。本発明者らは、N-ハロゲン化アミノ酸化合物の抗微生物活性は、脂肪族系酸化合物(例えば、酢酸ナトリウム)を含む処方物中で増強されることを発見した。

本発明は、例えば以下の項目を提供する。

(項目1)

N-ハロゲン化アミノ酸を含む処方物の抗微生物活性を改善する方法であって、脂肪族系酸を該処方物に加える工程を含む方法。

(項目2)

前記脂肪族系酸が、

酢酸ナトリウム、酢酸カリウム、酢酸カルシウム、酢酸マグネシウム、酪酸およびそれらの組合せからなる群から選択される、項目1に記載の方法。

(項目3)

前記N-ハロゲン化アミノ酸がクロロタウリンである、項目1に記載の方法。

(項目4)

前記クロロタウリンが2,2-ジメチル-N,N-ジクロロタウリンナトリウムである、項目3に記載の方法。

(項目5)

前記N-ハロゲン化アミノ酸が前記処方物の成分とイオン対を形成する、項目1に記載の方法。

(項目6)

N-ハロゲン化アミノ酸および脂肪族系酸を含む、抗微生物活性を有する処方物。

(項目7)

前記脂肪族系酸が、

酢酸ナトリウム、酢酸カリウム、酢酸カルシウム、酢酸マグネシウム、酪酸およびそれらの組合せからなる群から選択される、項目6に記載の処方物。

(項目8)

前記N-ハロゲン化アミノ酸がクロロタウリンである、項目6に記載の処方物。

(項目9)

前記クロロタウリンが2,2-ジメチル-N,N-ジクロロタウリンナトリウムである、項目8に記載の処方物。

(項目10)

前記N-ハロゲン化アミノ酸が前記処方物の成分とイオン対を形成する、項目6に記載の処方物。

(項目11)

感染組織を処置するための方法であって、

該感染組織を、N-ハロゲン化アミノ酸および脂肪族系酸を含む処方物で処置する工程を含む方法。

(項目12)

前記脂肪族系酸が、

酢酸ナトリウム、酢酸カリウム、酢酸カルシウム、酢酸マグネシウム、酪酸およびそれらの組合せからなる群から選択される、項目11に記載の方法。

(項目13)

前記N-ハロゲン化アミノ酸がクロロタウリンである、項目11に記載の方法。

(項目14)

前記クロロタウリンが2,2-ジメチル-N,N-ジクロロタウリンナトリウムである、項目13に記載の方法。

(項目15)

前記感染組織が、眼、耳、鼻、副鼻腔または皮膚組織である、項目11に記載の方法。

(項目16)

前記処方物が二液性処方物である、項目11に記載の方法。

(項目17)

表面を消毒するための方法であって、

消毒する表面を、N-ハロゲン化アミノ酸および脂肪族系酸を含む処方物で処理する工程を含む方法。

(項目18)

前記処理する表面が手術器具である、項目17に記載の方法。

(項目19)

前記表面が体組織である、項目17に記載の方法。

(項目20)

呼吸器感染症を処置するための方法であって、

該呼吸器の感染部位を、N-ハロゲン化アミノ酸および脂肪族系酸を含む処方物と接触させる工程を含む方法。

(項目21)

前記呼吸器の感染が、

副鼻腔組織感染、鼻感染、上部呼吸器感染、肺/下部呼吸器感染、食道感染およびそれらの組合せからなる群から選択される、項目20に記載の方法。

(項目22)

コンタクトレンズを消毒および/または洗浄する方法であって、

コンタクトレンズを、レンズを消毒および/または洗浄するのに十分な時間、N-ハロゲン化アミノ酸および脂肪族系酸を含む処方物と接触させる工程を含む方法。

**【手続補正2】**

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

**【補正の内容】**

【特許請求の範囲】

**【請求項1】**

N-ハロゲン化アミノ酸を含む処方物の抗微生物活性を改善する方法であって、脂肪族系酸を該処方物に加える工程を含む方法。

**【請求項2】**

前記脂肪族系酸が、

酢酸ナトリウム、酢酸カリウム、酢酸カルシウム、酢酸マグネシウム、酪酸およびそれらの組合せからなる群から選択される、請求項1に記載の方法。

**【請求項3】**

前記N-ハロゲン化アミノ酸がクロロタウリンである、請求項1に記載の方法。

**【請求項4】**

前記クロロタウリンが2,2-ジメチル-N,N-ジクロロタウリンナトリウムである、請求項3に記載の方法。

**【請求項5】**

前記N-ハロゲン化アミノ酸が前記処方物の成分とイオン対を形成する、請求項1に記載の方法。

**【請求項6】**

N-ハロゲン化アミノ酸および脂肪族系酸を含む、抗微生物活性を有する処方物。

**【請求項7】**

前記脂肪族系酸が、

酢酸ナトリウム、酢酸カリウム、酢酸カルシウム、酢酸マグネシウム、酪酸およびそれらの組合せからなる群から選択される、請求項6に記載の処方物。

**【請求項8】**

前記N-ハロゲン化アミノ酸がクロロタウリンである、請求項6に記載の処方物。

**【請求項9】**

前記クロロタウリンが2,2-ジメチル-N,N-ジクロロタウリンナトリウムである、請求項8に記載の処方物。

**【請求項10】**

前記N-ハロゲン化アミノ酸が前記処方物の成分とイオン対を形成する、請求項6に記載の処方物。

**【請求項11】**

感染組織を処置するための処方物であって、N-ハロゲン化アミノ酸および脂肪族系酸を含む、処方物。

**【請求項12】**

前記脂肪族系酸が、

酢酸ナトリウム、酢酸カリウム、酢酸カルシウム、酢酸マグネシウム、酪酸およびそれらの組合せからなる群から選択される、請求項11に記載の処方物。

**【請求項13】**

前記N-ハロゲン化アミノ酸がクロロタウリンである、請求項11に記載の処方物。

**【請求項14】**

前記クロロタウリンが2,2-ジメチル-N,N-ジクロロタウリンナトリウムである、請求項13に記載の処方物。

**【請求項15】**

前記組織が、眼、耳、鼻、副鼻腔または皮膚組織である、請求項11に記載の処方物。

**【請求項16】**

前記処方物が二液性処方物である、請求項 1 1 に記載の処方物。

【請求項 1 7】

非ヒト表面を消毒するための方法であって、  
消毒する表面を、N - ハロゲン化アミノ酸および脂肪族系酸を含む処方物で処理する工程を含む方法。

【請求項 1 8】

前記処理する表面が手術器具である、請求項 1 7 に記載の方法。

【請求項 1 9】

表面を消毒するための処方物であって、N - ハロゲン化アミノ酸および脂肪族系酸を含み、該表面が体組織である、処方物。

【請求項 2 0】

呼吸器感染症を処置するための処方物であって、N - ハロゲン化アミノ酸および脂肪族系酸を含む、処方物。

【請求項 2 1】

前記呼吸器の感染が、  
副鼻腔組織感染、鼻感染、上部呼吸器感染、肺 / 下部呼吸器感染、食道感染およびそれらの組合せからなる群から選択される、請求項 2 0 に記載の処方物。

【請求項 2 2】

コンタクトレンズを消毒および / または洗浄する方法であって、  
コンタクトレンズを、レンズを消毒および / または洗浄するのに十分な時間、N - ハロゲン化アミノ酸および脂肪族系酸を含む処方物と接触させる工程を含む方法。